

宮代町地域包括ケアシステムの取組み

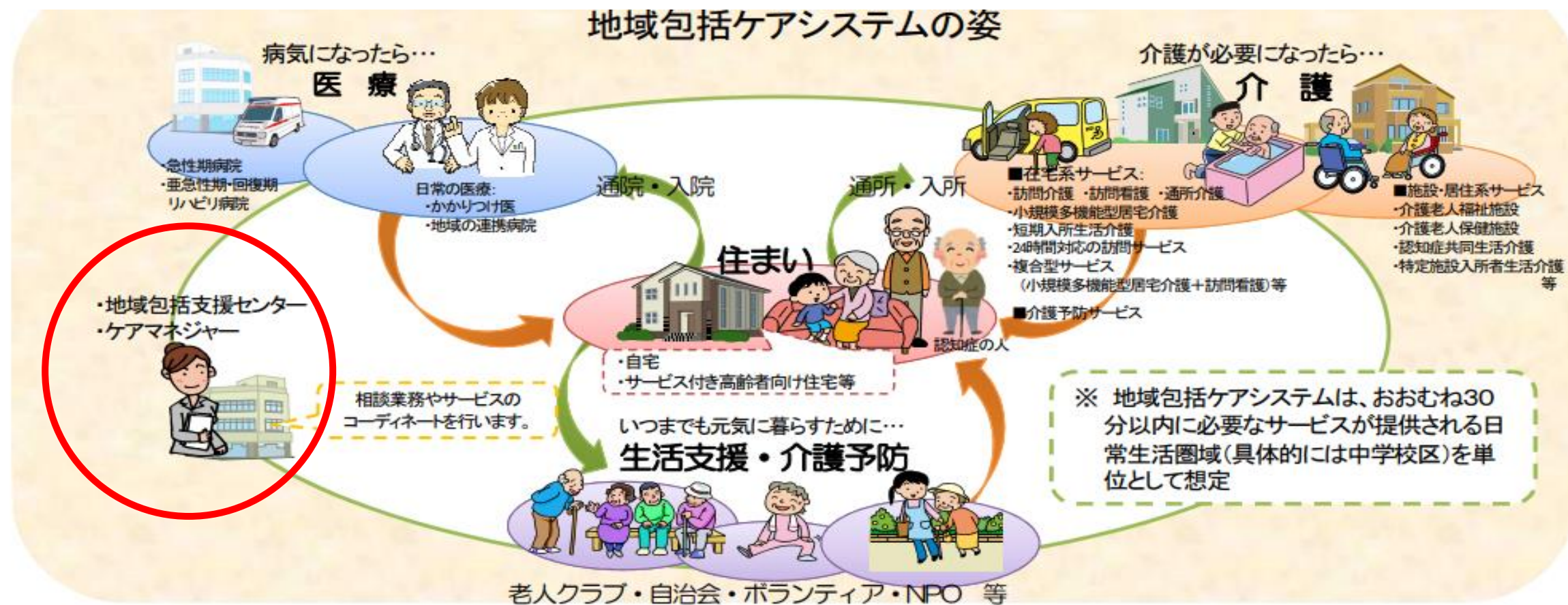
宮代町健康介護課



1 宮代町地域包括ケアシステムの全体像

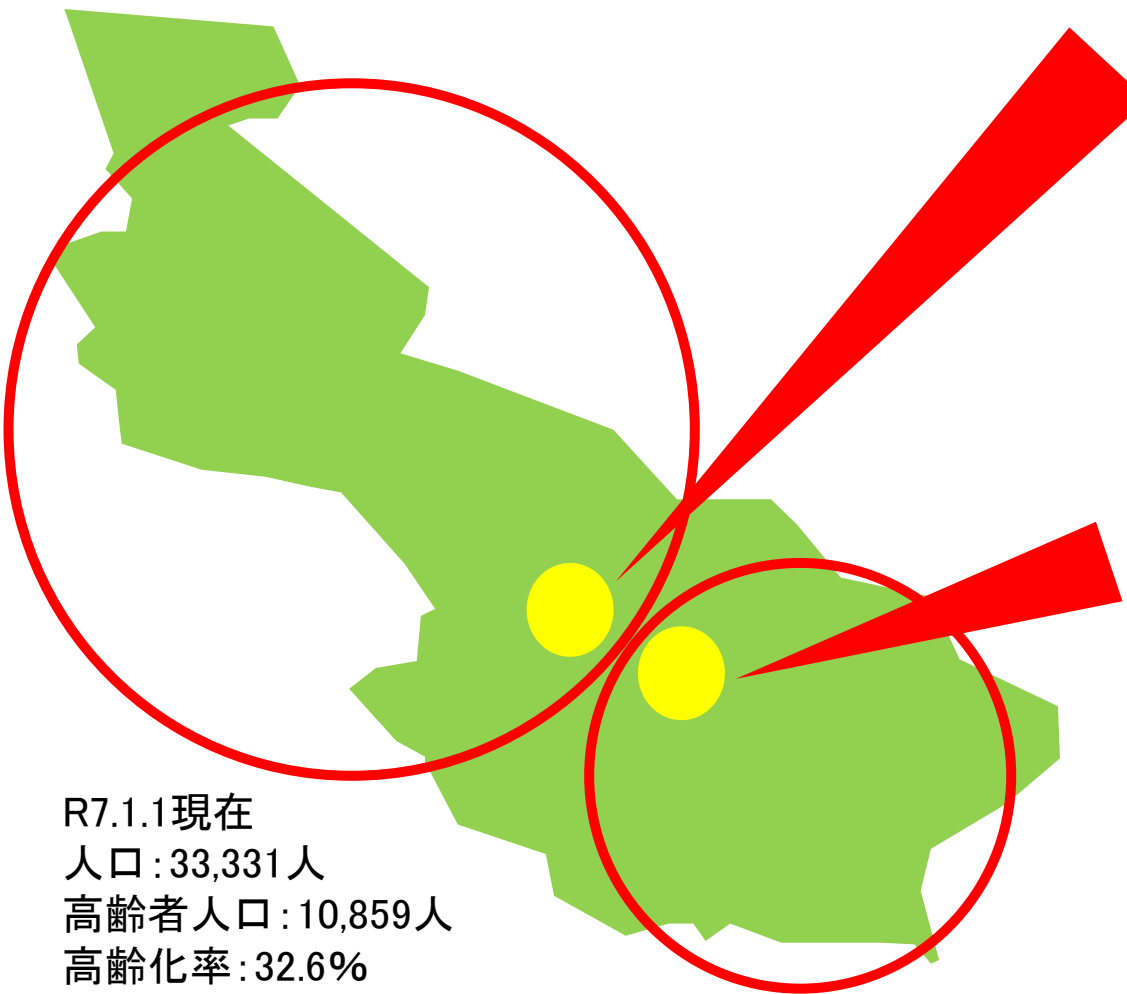
宮代町では、令和6～8年度を期間とする第9期計画において、「地域包括ケアシステムの深化・推進」と「地域共生社会の実現」を基本理念に掲げ、高齢者が住みなれた地域で自分らしく暮らし続けられるよう「住まい」を中心に、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくりを進めています。

【図解】イメージ図



2 身近な相談窓口「高齢者相談センター」が2拠点へ！

高齢者の多様なニーズによりきめ細かく対応するため、中核機関である「地域包括支援センター」の名称を親しみやすい「高齢者相談センター」へと改称し、令和7年4月より町内を南北に分けた2拠点体制へと強化しました。



R7.1.1現在
人口: 33,331人
高齢者人口: 10,859人
高齢化率: 32.6%

北高齢者相談センター	
運営主体	社会福祉法人 真善会
職員数(R7)	5名
介護予防ケアプラン作成(R7)	101件
総合相談(R7)	3,723件
地域訪問(R7)	470件
事業所からの相談(R7)	331件
南高齢者相談センター	
運営主体	宮代町社会福祉協議会
職員数(R7)	4名
介護予防ケアプラン作成(R7)	120件
総合相談(R7)	4,406件
地域訪問(R7)	471件
事業所からの相談(R7)	327件

3 地域包括ケアシステムの取り組み

宮代町の地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みをいくつか紹介します。

【相談体制】

・生活圏域に合わせた2拠点化（令和7年度から）

⇒町を南北に分割して「南北の2拠点体制」へ再編。
専門職を増員し、より地域に密着した迅速な対応や
積極的なアウトリーチ（訪問支援）を可能にしました。

【見守り】

・単身高齢者への合同訪問

⇒地域の事情に詳しい「民生委員」と高齢者相談セン
ターの「専門職」がタッグを組み、対象となる高齢者
宅を共同で訪問しています。

【広域連携】

・近隣市町との広域連携

⇒宮代町では医療機関が少ないため、自治体の枠にとら
われず、3市1町（久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町）
の広域エリア全体をひとつの「大きな生活圈・医療圏」
と捉え、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築
を目指しています。

【介護予防】

・「いきいき百歳体操」を牽引する住民リーダー

⇒町が主催する養成講座を終了した住民が「プラザサ
ポーター」となり、指導員として地域で体操教室や出
前講座を運営しています。

・住民主体による「通いの場」の運営

⇒町内には、30を超える住民主体の団体が、交流サロ
ン・体操教室などを運営し、約700人がその活動に参
加しています。

【生活支援体制整備】

・生活支援の担い手発掘

⇒生活支援コーディネーターを配置し、地域活動情報や
活動者を把握。生活支援体制整備推進会議（協議体）
での生活支援に関する交流会や勉強会を企画・開催し、
活動団体等とマッチングを実施しています。